

【第3期中期目標期間に目指す大学像】

獣医・農畜産分野において、国際通用力を持つ教育課程及び食の安全確保のための教育システムを保有する我が国唯一の大学として、グローバル社会の要請に即した農学系人材を育成する。

【機能強化策】

1. 世界トップレベル大学等との国際共同研究を推進し、その成果を教育に還元
2. 世界の潮流となっている国際安全基準適応の実習環境による教育を推進
3. グローバル企業等社会のニーズに即した共同研究・人材育成を推進

国際安全基準適応の環境整備と教育機能の強化

〈畜産フィールド科学センター〉

乳製品工場
国際食品安全衛生基準
FSSC22000取得済

農場フィールド
搾乳施設
乳肉加工実習施設

ISO22000等国際食品
安全衛生基準取得予定

原虫病研究センター
動物・食品検査
診断センター

ISO17025
国際安全試験所基準取得予定

国際通用力を持つ獣医・農畜産分野の教育機能を強化

畜産学研究科

〈博士課程〉
・畜産衛生学専攻
食品安全マネジメント
教育プログラム実施

〈修士課程〉
・畜産生命科学専攻
・食品科学専攻
・資源環境農学専攻

〈大学院再編構想の検討・推進〉
・修士課程及び博士前期課程のカリキュラム改編
・獣医学、畜産科学の博士課程設置（連合大学院
構成大学間で検討）

共同獣医学課程
欧米教育認証取得予定

畜産学部
畜産科学課程

産業界等社会の要請に即した人材育成機能強化

〈地域連携推進センター〉

■企業の実務家教員
■企業OBのコーディネーター
■国際安全管理実践実務教員

インキュベーションオフィス
〈拡充〉

ニッポン人 Pasco
Calbee よつ葉
日本甜菜製糖株式会社

社員の客員教授及び
社員の社会人大学院生在籍

施設を利用した専門教育
国際安全基準適応実習

社会ニーズに即した
オーダーメイド型実務教育

学生交流

外国人教員の教育参画（講義等）
海外教育プログラムの導入 等

学生交流

年俸制・混合給与等
人事給与システム弾力化

【獣医学分野】
米国コーネル大学
(H25.12 協定締結)

【家畜感染症分野】
海外大学・研究機関

〈研究組織〉 研究域〈既設7研究部門〉

国際共同研究担当教員が結集

グローバルアグロメディシン研究センター〈新設〉
■国際共同研究で世界の食・農畜産・公衆衛生の課題解決

原虫病研究センター
〈共同利用・共同研究拠点〉
論文業績：国内No.1 世界Top30
国際獣疫事務局(OIE)認定拠点

動物・食品検査診断センター
日本の農学系大学で唯一の
動物・食品検体検査診断機能

年俸制・混合給与等
人事給与システム弾力化

【農畜産学分野】
米国ウイソニン大学
(H26.9 協定締結)

【動物・食品衛生分野】
海外大学・研究機関

研究グループ
招致

研究グループ
招致

共同研究

共同研究

海外大学との国際共同研究推進

学術論文の国際共著率を
31%から40%台へ

畜産衛生学専攻の半数以上の学生に食品
安全マネジメントシステム専門家資格を付与

インキュベーションオフィス入居企業を
5社から10社に倍増

企業等との共同研究テーマを選択する
大学院生比率を20%から40%に倍増